



第1回・土木史サロン



～土木の歴史に学び、現在、そしてこれからの社会を考える～

近年、日本の近代化を支えた施設が世界遺産になるなど、今まで光のあたらなかった施設にスポットがあたりつつあります。この点、土木遺産も日本の国づくりを支えたインフラ施設として注目されつつあります。

そこで、2015年 日本国際賞を受賞された高橋 裕 東京大学名誉教授をお招きし、土木史的な思考の意義と役割についてご講演を頂きます。

加えて、東日本大震災の被害にあった貞山運河、北上運河、野蒜築港、石井閘門等の被害調査・修復工事等に尽力された東北大学 後藤光亀先生にもご参加頂き、土木遺産の現状とその活用について、現場サイドからのご意見を紹介して頂きます。

また、私たちの暮らしと密接に関わってきた“土木の歴史”を多くの方々に理解して頂くために、土木史のアニメ「水と戦った戦国の武将たち」をご覧頂きます。さらに、市民講座等で活動されている緒方英樹広報小委員会委員長、最近では観光資源としての活用や熱心なファンの増加も注目されるダムの歴史と文化について活動されている中野朱美さん、国内だけではなく海外における先進事例にも精通した岡田昌彰土木史研究委員会幹事長が参集して、“土木史研究”を今後の社会にどう活かしていくかを議論して頂くことにしています。ご多忙中とは思いますが、このようなメンバーが一堂に会し土木史のあり方を議論する機会は少ないと思います。是非ご参加下さい。

特別講演 13:35-14:25 (50分)

「土木史的思考の意義と役割」

高橋 裕 (2015年 (第31回) 日本国際賞受賞・東京大学名誉教授)

報告 14:25-15:05 (40分)

「東日本大震災被害状況調査からの教訓」

後藤光亀 (東北大学大学院工学研究科准教授・土木学会選奨土木遺産選考委員会委員)

映像 15:05-15:25 (20分)

「水とたたかった戦国の武将たち」

監修 高橋 裕/企画・脚本 緒方英樹

パネルディスカッション 15:35-17:00 (85分)

「現在、そしてこれからの社会に、土木史研究をどう活かすか」

パネリスト： 高橋 裕 (東京大学)、後藤光亀 (東北大学)、中野朱美 (日本ダム協会)
緒方英樹 (広報小委員会委員長、上記映像作品の企画者)

コーディネーター

岡田 昌彰 (近畿大学 工学部社会環境工学科 教授、土木史研究委員会幹事長)

2015年11月11日(水) 13:00開場 13:30開演 17:00終了
土木学会講堂 (JR 中央線・地下鉄丸ノ内線・南北線「四ツ谷」駅下車5分)

アクセス：<http://www.jsctact/map.shtml>

主催 公益社団法人 土木学会土木史研究委員会
共催 土木広報センター



第1回・土木史サロン



「土木の歴史に学び、現在、そしてこれからの社会を考える」

■プログラム■

- 開会挨拶 13:30-13:35 (5分)
天野 光一 (土木史研究委員会委員長)
- 特別講演
「土木史的思考の意義と役割」13:35-14:25 (50分)
高橋 裕 (2015年(第31回)日本国際賞受賞・東京大学名誉教授)
- 報告
「東日本大震災被害状況調査からの教訓」14:25-15:05 (40分)
後藤光亀 (東北大学大学院工学研究科准教授・土木学会選奨土木遺産選考委員会委員)
- 上映作品 15:05-15:25 (20分)
「水とたたかった戦国の武将たち」あらすじ；戦国の武将たちは、城や道路をつくり、河をおさめ堤防を築き、領土と住民を守る一方で、自然と国を治めることに力をそそいできた。信玄の業績「信玄堤」を取り上げたアニメ。第20回土木学会映画・ビデオコンクール優秀賞20分
- 休憩 10分
- パネルディスカッション 15:35-17:00 (85分)

「現在、そしてこれからの社会に、土木史研究をどう活かすか」

パネリスト候補者

高橋 裕 (東京大学)

後藤光亀 (東北大学)

中野朱美 (日本ダム協会)

緒方英樹 (上記映像作品の企画者)

コーディネーター

岡田 昌彰 (近畿大学、土木史研究委員会幹事長)

- 土木史関連の書籍や写真パネルの展示 (講堂前ロビー)

- 申込先

土木学会ホームページよりお申し込みください。

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

※お申込み後、メール参加券をお送り致しますので、プリントアウトして当日ご持参下さい。

申し込み多数の場合は先着順とさせていただきますので、予めご了承ください。

主催 公益社団法人 土木学会土木史研究委員会
共催 土木広報センター